

行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	国際共同研究推進事業	担当部局庁	国立保健医療科学院	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	平成24年度	担当課室	総務部会計課	課長 矢作 弘				
会計区分	一般会計	施策名	VI-3-4 国立試験研究機関の適正かつ効果的な運営を確保する。					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—	関係する計画、通知等	—					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	国際協力研究部の新設に伴い、これまで具体的な研究協力実績が少なかった国際機関、国際団体、海外の保健医療研究機関について、組織的かつ継続的な共同研究体制を構築し共同研究を実施する。本事業によって、海外諸機関との共同研究が質・量共に向上する。共同研究自体による日本国民の健康や国際社会への貢献に加えて、共同研究を通じて、研究機関としての科学院の国際的な役割を確立することは、わが国の国益ともなる。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	(1)WHO、OECD等の国際機関、IANPHI(国際国立公衆衛生研究所協議会)等の国際団体、科学院が協定を結んでいる海外保健医療研究機関と喫緊の保健医療上の課題について、共同研究を実施する。24年度は、特に関係の深いWHO、IANPHI、CDC(米国疾病管理センター)、フィンランド国立保健福祉研究所、フィリピン大学公衆衛生学部等との研究協力を強化する。(2)共同研究のテーマや方法については、科学院幹部及び国際協力研究部の職員が、協力機関に出向き、討議の上、決定する。現在のところ、生活習慣病対策、災害後の健康確保対策、医療供給体制整備、高齢者介護対策が候補としてあげられる。テーマ決定後、速やかに国際協力研究部を中心として院内の研究体制を固め実施に移す。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予算の状況	当初予算					3	
		補正予算						
		繰越し等						
		計					3	
	執行額							
執行率(%)								
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (24年度)	
	海外の国際機関・研究機関等と新たに国際共同研究を開始する。	成果実績	件				3	
		達成度	%					
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	24年度活動見込	
	海外の国際機関・研究機関等と新たに国際共同研究を行った件数。	活動実績 (当初見込み)					- ( ) ( 3 )	
単位当たりコスト	(円/ )	算出根拠					—	
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	諸謝金		0.2					
	職員旅費		1.4					
	委員等旅費		0.2					
	試験研究費		1					
	計		2.8					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的 状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の 流れ、 費目・ 使途	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	－	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、 成果実績	－	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>本事業により、海外諸機関との共同研究が質・量共に向上するとともに、共同研究自体による日本国民の健康や国際社会への貢献に加えて、共同研究を通じて、研究機関としての科学院の国際的な役割を確立するために必要な経費である。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
	<p>本事業は、喫緊の健康課題に対応するため、国際機関や海外の保健医療研究機関等と共同研究の実施に必要な経費であり、事業目的の妥当性や重要性の観点から優先度が高い事業である。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
－			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入

資金の流れ  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロッ  
 クごとに最大の  
 金額が支出され  
 ている者につい  
 て記載する。費  
 目と使途の双方  
 で実情が分かる  
 ように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					